

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		コンプライアンス、法的理解が不十分	ご利用者の気持ちや尊厳を理解し「身体拘束」、「虐待」等に対する正しい理解をする。	<ul style="list-style-type: none"> 「身体拘束」、「虐待」、「コンプライアンス」に対する定期的な研修の実施 継続して、ご利用者の気持ち、尊厳について会議等で定期的話し合う。 	6ヶ月
2		ご利用者、ご家族様への情報配信の工夫について	ご家族様がご利用者の状況、ホームの近況等分かるような情報配信を行う。 ご利用者様、ご家族様が気軽に相談、要望、意見を伝えることのできるような環境、雰囲気作りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の中で、意見等を伝えやすい雰囲気づくりを行なう。 太陽通信等によりご家族の要望、意見に対する対応や現状を発信していく。 ご家族様面会時にコミュニケーションをとることで、気軽に意見や要望を伝えやすい環境整備を行なう。 	6ヶ月
3		ボランティアグループの方々との信頼関係の構築を深める	ボランティアグループの方々にホームご利用者の注意事項、プライバシー保護等について理解していただく取り組みを行う。	グループホームについて、認知症について指針、注意事項等のパンフレット作成と、事前説明等を実施する。	6ヶ月
4					
5					
6					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。